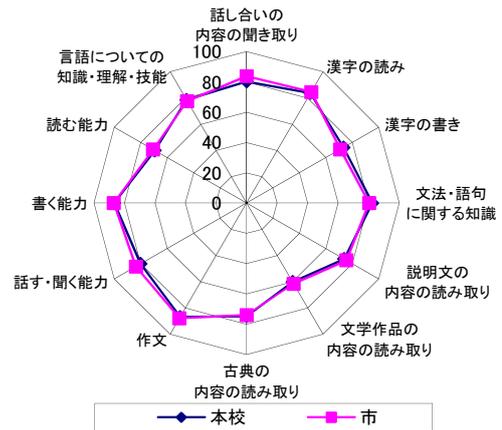


宇都宮市立旭中学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容の聞き取り	80.2	83.7
	漢字の読み	83.8	84.7
	漢字の書き	73.4	70.9
	文法・語句に関する知識	82.3	80.3
	説明文の内容の読み取り	73.9	75.5
	文学作品の内容の読み取り	60.2	61.6
	古典の内容の読み取り	74.6	73.9
観点別	作文	86.9	87.7
	話す・聞く能力	80.2	83.7
	書く能力	86.8	86.9
	読む能力	69.4	70.6
	言語についての知識・理解・技能	78.6	77.6



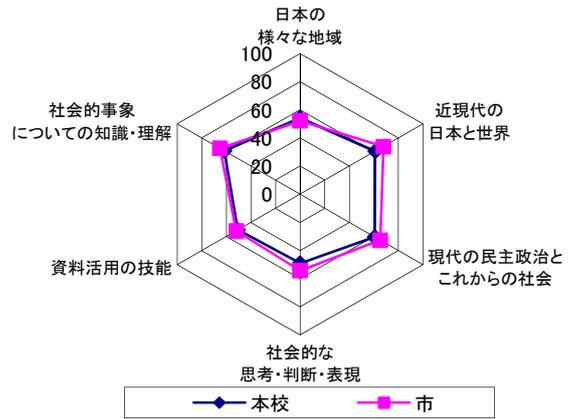
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容の聞き取り	全体としては82%の正答率で、市の平均より2.5ポイント下回っている。特に、誰が同じ趣旨の意見を言っていたかを問う問題では、正答率が低めだった。	授業の中でも、聞き取りテストを行い、いつ、どこで、だれが、といった聞き取るポイントを理解させる。授業の中で、板書以外にも、必要なことをメモすることにも慣れさせる。
漢字	漢字の読みの正答率は、83.8%で市平均より1.1ポイント低い。書く方は、73.4%と市の平均を2.5ポイント上回っている。	書くことについては、今後も授業中に間違えやすい漢字の確認を続けていく。読みについては、漢字練習や教科書音読の際に、読みのほうにも力を入れて指導していく。
文法・語句に関する知識	説明文の内容の読み取りについては、正答率が73.9%で、市の平均より、1.6ポイント下回っている。「筆者の論理の展開の仕方を問う問題」では8.7ポイント下回る結果となっている。	説明文の授業では、筆者が何をどんな順序で書いているか、考えさせるようにする。また、文章中の例が何を説明するための例か、どうして必要なのかも考えさせながら、筆者の論理の展開をみていくようにする。
説明文の内容の読み取り	60.2%の正答率で、市平均よりも1.4ポイント低い。特に、「場面の展開に即して人物の心情をとらえる問題」の正答率は64.3%となっており、市の平均を3.5ポイント下回っている。	登場人物の心情の理解については、直接心情が書いてある文だけでなく、すぐ前後の部分や離れた部分も考えて、総合的に考えることを押さえていく。何となく思う、というだけではなく、根拠になる部分に線を引くなどして、とらえさせる。
文学作品の内容の読み取り	正答率が80%を上回っているものの、市の平均より0.8ポイント低い。中でも、三段落構成で書く、という条件をきちんと満たしている割合が、市平均に比べて2.6ポイント下回っている。	作文を書かせる際に、何段落で書く、などの条件をつけた作文を書く機会を増やす。よい作文の例や、まずい例なども示し、一文ずつで段落を切ってしまう、というようなことがないようにしていく。
古典の内容の読み取り	古典の内容の読み取りは74.6%の正答率で、市の平均を0.7ポイント上回っている。「古文中の言葉を入れ、感想文を完成させる問題」では、市の平均は上回ったものの、低めの正答率である。	授業の文章だけでなく、初めて読む古文についても自分で音読できるよう、古文の音読を習慣づけたい。そのうえで、現代語訳と参照した時に、古文のどの言葉が現代語のどれにあたるか考えさせたい。
作文	正答率が80%を上回っているものの、市の平均より0.8ポイント低い。中でも、三段落構成で書く、という条件をきちんと満たしている割合が、市平均に比べて2.6ポイント下回っている。	作文を書かせる際に、何段落で書く、などの条件をつけた作文を書く機会を増やしたい。いい作文の例や、まずい例なども示し、一文ずつで段落を切ってしまう、というようなことがないようにしていきたい。

宇都宮市立旭中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	日本の様々な地域	54.1	52.1
	近現代の日本と世界	61.1	67.8
	現代の民主政治とこれからの社会	60.8	65.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	49.1	54.3
	資料活用 of 技能	50.7	52.1
	社会的な事象についての知識・理解	61.7	65.2



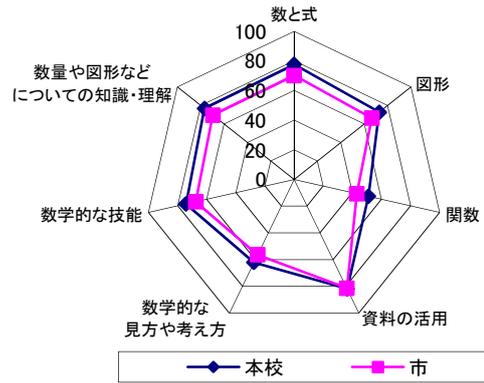
★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	日本の様々な地域	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市と本校を比較した場合、本校が市の平均を2.0ポイント上回っている。 ・グラフの読み取りと、経済水域が日本にあたる影響についてと貿易等に関する正答率がやや上回っている。 ・工業についてと、記述に関しては、市平均の正答率よりやや下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地理では、地域ごとの特色について視聴覚教材等を取り入れわかりやすく指導していく。
歴史	近現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市と本校を比較した場合、本校が市の平均を6.7ポイント下回っている。 ・第二次世界大戦後の日本についてはすべての項目で市平均の正答率より下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史では、近現代の日本と世界に限らず、年号やできごとなどを覚えることが中心なので、小テストなどを行い、しっかり覚えられるようにしていく。
公民	現代の民主政治とこれからの社会	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市と本校を比較した場合、本校が市の平均を4.4ポイント下回っている。 ・選挙のしくみや政治のしくみについても市平均の正答率より下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民は、現代社会のしくみや動きなどを学習しますが、教科書だけではなく、今日の動きなどを新聞やテレビを通し興味関心を持たせていく。

宇都宮市立旭中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と式	77.5	70.1
	図形	72.8	66.4
	関数	51.0	43.0
	資料の活用	81.9	81.4
観点別	数学的な見方や考え方	62.1	56.4
	数学的な技能	74.3	67.5
	数量や図形などについての知識・理解	76.8	69.6



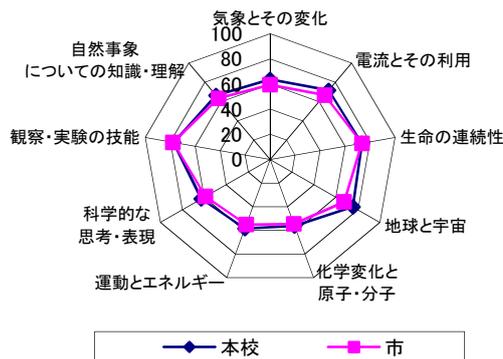
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市と本校を比較した場合、7.4ポイント上回っている。 すべての項目において、市を上回っているが、平方根の乗法、二次方程式、解の公式についての正答率がやや低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 平方根そのもの問題だけでなく、解の公式においても、平方根の計算によるつまづきが考えられるので、更に理解が深まるように、2乗の考え方をしっかり復習する上で計算の仕方定着させる。
図形	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市と本校を比較した場合、6.4ポイント上回っている。 すべての項目において、市を上回っているが、記述の証明問題において、無回答が1割程度いる。 	<ul style="list-style-type: none"> 証明問題において、証明の根拠となる事柄は選べても記述になると正答率の落ち込みが見られたので、証明の書き方について理解を深め、パターン化できるよう支援していく。 記述の証明問題に無回答の生徒が1割程度見られたので、多くの問題に触れさせ、積極的に問題に取り組むよう指導していく。
関数	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市と本校を比較した場合、8.0ポイント上回っている。 すべての項目において、市を上回っているが、正答を選ぶことはできても、理由の説明を記述することができない。また、xの2乗に比例する関数についての定着度は高いが、1次関数については正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 正答を選ぶことはできるが、それについての理由を記述することができない生徒が5割いるので、自分の考えやその理由などを表現する活動を増やし、それによって関数そのものについても理解を深めさせる。 1次関数についての定着が低いことから、xの2乗に比例する関数と比較しながら1次関数の学習内容について復習し、定着をはかっていく。
資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮市と本校を比較した場合、0.5ポイント上回っている。 正答率は高めであるが、確率の問題で倍数についても考えなければならない問題については、市を1.4ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 数と式の内容もあわせて復習しながら、確率については定着させる。樹形図や数え上げの使い方や、その良さについて細かく確認しながら指導し、理解できる様支援していく。

宇都宮市立旭中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	気象とその変化	63.6	59.4
	電流とそ利用	71.9	66.9
	生命の連続性	73.5	73.6
	地球と宇宙	75.5	67.4
	化学変化と原子・分子	56.3	54.6
	運動とエネルギー	58.5	55.1
観点別	科学的な思考・表現	62.8	58.9
	観察・実験の技能	77.4	77.9
	自然事象についての知識・理解	66.5	63.5



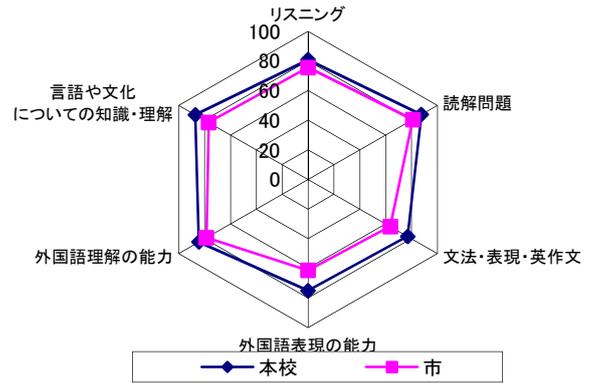
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
気象とそ変化	露点は何であるか、湿度は何であるかは理解しているが、露点と湿度が温度によって変化することなど、応用の部分が理解できていない。一方で、前線の通過と天気の変化については基本的な内容を理解していることがわかる。	・実験や問題演習を丁寧に行い、活用する力をつけていく。
電流とそ利用	国、市と比較すると正答率が高いが、静電気の性質で電流、電圧よりも理解がされていないことがわかる。	・静電気の性質を確かめる実験は行っているが、教科書の内容以外にいろいろなもので実験を行い、さらに理解が深まるように授業を工夫する。
生命の連続性	細胞分裂の過程についてはよく理解しているが、細胞の観察実験の技術や生物の体の成長と細胞分裂後の細胞の成長などは知識は不足していたことがわかる。メンデルの実験で、子の代の形質、遺伝子については理解しているが、孫の代でどうなるか理解していない。	・細胞の観察では染色のしかたに注目させたり、いろいろな細胞を染色して観察することで技能を身につけさせる。 ・メンデルの実験では、子の代、孫の代を学習した後、発展としていろいろな例を問題演習で取り上げるなど、関心を高められるようにする工夫する。
地球と宇宙	授業で行った問題演習に比べて難易度が低いので正答率が高かったと思われる。	・この領域は生徒の関心がとても高く、意欲的に学習に取り組んでいたため、今後、太陽の観察や映像を積極的に用いたり、観察を多く取り入れたりして、日周運動や年周運動の発展的な内容につなげる。
化学変化と原子・分子	イオン式や数値が問題の中に出てくると敬遠する生徒がいる。電池や中和などの化学反応をあいまいに理解しているので細かいところがよくわからない。	・イオン式では1価、2価、+と-をあいまいに覚え、規則性を理解できない生徒も多いので、板書や問題演習に工夫して繰り返し書いて覚えられるようにする。 ・電池は実験を行ったあと、しくみをよく説明するなど授業に工夫する。
運動とエネルギー	仕事の量を求めることはできるが、道具を使った仕事は、道具を使うことで仕事の量が小さくなるような思い込みを改善できなかった。	・道具を使った仕事は実験を多く行うことで理解を深め、既存の概念を払しょくできるように授業を改善する。 ・等速直線運動では、グラフは把握していてもそれがどうしてそのようになるのかは理解されていないので、実験後のまとめの授業でわかりやすい伝え方を工夫する。

宇都宮市立旭中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	リスニング	80.8	75.5
	読解問題	87.5	80.9
	文法・表現・英作文	77.0	63.5
観点別	外国語表現の能力	75.0	61.4
	外国語理解の能力	84.5	78.7
	言語や文化についての知識・理解	87.2	76.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング	<p>・宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均を5.3ポイント上回っている。しかし、大問3つの中では、メモを完成させる問題における正答率が最も低いことから、放送された英文の要点を聞き取る力が弱いことがわかる。</p>	<p>・今後もできるだけ生徒が英語に触れられるよう、英語を多用する。</p> <p>・特にALTとのTTでは、新しい文法の導入の際などに、自然な会話のやり取りを通して、会話の要点を聞き取らせるような工夫をする。</p> <p>・普段聞いたことのないネイティブの発音や会話のスピードにも慣れさせる必要があると思われるので、市販のリスニングCDも活用する。</p>
読解問題	<p>・宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均を6.6ポイント上回った。この領域における全ての質問において、市の平均を上回る結果となった。</p>	<p>・今年度は、読む力と同時に書く力もつけるため、Lessonごとに本文の内容に関する英問英答と、日本語での推論質問を含んだワークシートを作成し、取り組ませてきた。推論質問を取り入れたことで、より深く読もうとする生徒が増えたように思われるので、今後も継続していく。</p>
文法・表現・英作文	<p>・宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均を13.5ポイント上回った。昨年が9.2ポイントであったことを考えると、表現力が着実に定着しているように思われる。特に、場面に応じて英文を書く問題での正答率は、市の平均を20ポイント近く上回っており、これは、入学時から毎時間行ってきた帯学習(ペアでのQ&A練習や弾丸インプット)を継続的に行ってきたことの成果であると思われる。</p>	<p>・今後もペアやグループでの活動を積極的に取り入れ、1時間の中で、生徒ができるだけたくさん英語を発することが出来る授業を展開する。</p> <p>・帯学習の効果を非常に感じているので、今後もQ&A、単語&熟語の弾丸インプット等を毎時間継続して行う。</p> <p>・書く力をつけさせる工夫として、基本文テスト、単語&熟語テスト等をレッスン毎に行う。</p>